群馬県利根郡みなかみ町　MINAKAMI DIET NEWS

みなかみ議会だより

9月定例議会

平成21年度 決算認定 ……2

町政を問う 一般質問8人 ―― 6

●写真／稲刈り体験
（小川里山の会・小川地区）

都内の児童・保護者を受け入れ、地区の棚田で田植えや稲刈りなどの体験を支援しています。

都市住民との交流が、地域の活性化に役立っています。

21号

平成22年（2010年）
11月1日発行

認定 9月 定例議会

8日から17日の10日間の会期で開催されました。

報告7件、22年度補正予算7件、条例改正2件、その他5件が提出され、審議の結果、すべての議案を原案通り可決しました。また、21年度一般会計･特別会計の決算を認定しました。

8人の議員が、『保健福祉』『教育環境』『観光振興』『自然との共存』等について、一般質問しました。

今決算のポイント

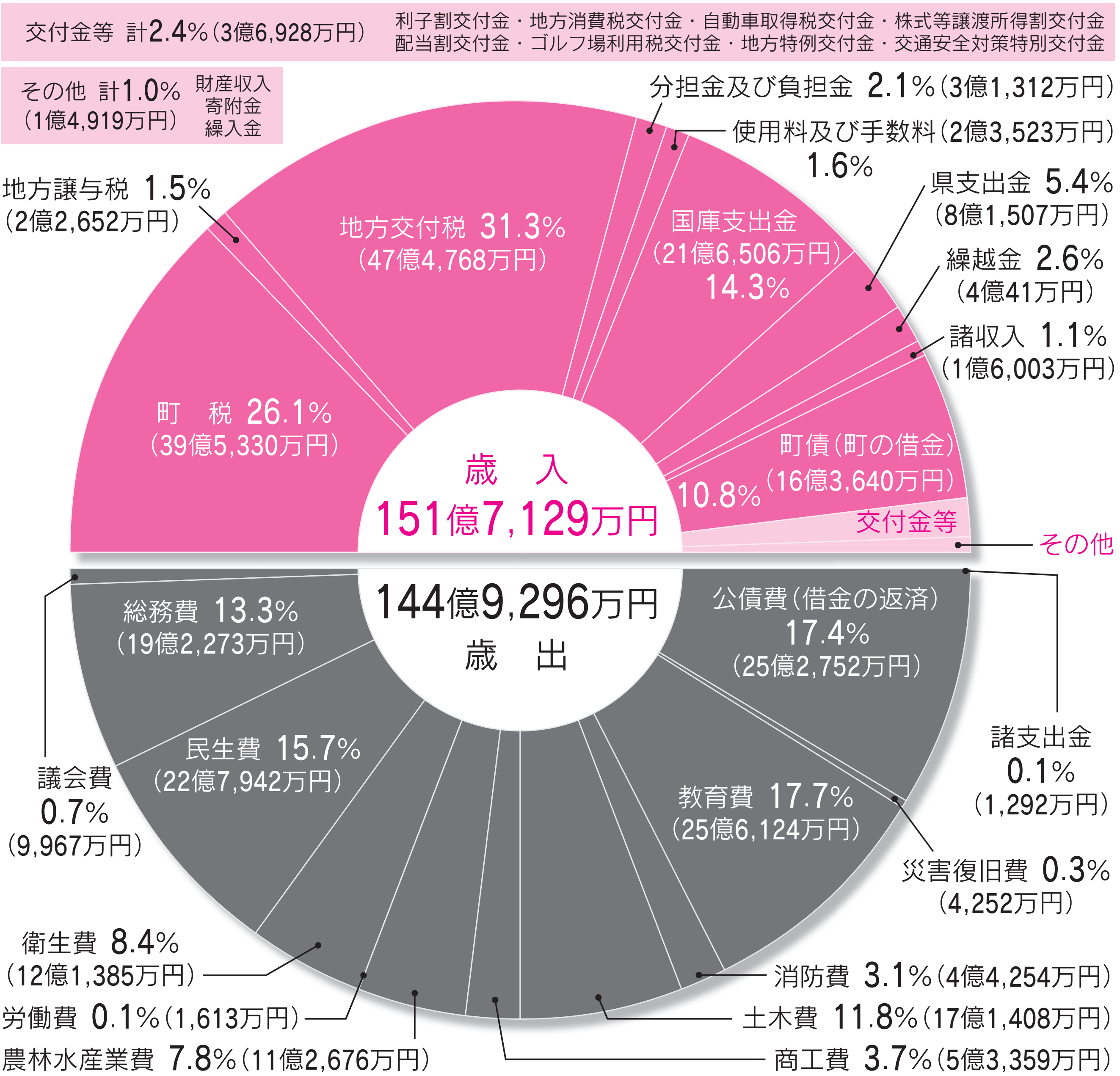
◆町内学校施設の耐震整備が完了　国の方針により、町内全ての小・中学校の施設について耐震改修整備が完成しました。当初予定より前倒しでの完了です。

◆実質公債費率が18%を切る　本町の実質公債費率が17.2%となり、財政状況の判断基準である18%を下回りました。これにより起債の許可団体から協議団体に移行します。財政健全化へ向けて着実に前進しています。

※一般に実質公債費率が35%以上でレッドゾーン（夕張市など）、25%以上でイエローゾーンと言われている。

一般会計決算状況

※四捨五入のため、合計と一致しない場合があります。



平成21年度決算

特別会計決算状況

区分	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	30億8,343万円	27億6,608万円
老人保健	1,973万円	1,708万円
後期高齢者医療	2億3,113万円	2億2,375万円
介護保険	18億1,131万円	17億7,943万円
簡易水道	2億5,937万円	2億3,816万円
下水道	13億2,946万円	12億5,591万円

区分		歳入総額	歳出総額
利根沼田広域観光センター		752万円	730万円
自家用有償バス		1,119万円	903万円
スキー場		1,315万円	1,150万円
温泉事業		4,377万円	2,781万円
水道事業	収益的収支	2億9,361万円	2億2,185万円
	資本的収支	5,474万円	1億3,294万円

―決算討論―

◇一般会計

反対 原澤良輝議員

町は一括アウトソーシング方式を取り入れました。

敬老祝金の半減・たばこ販売推進活動補助金は、今の社会では容認できません。

賛成 前田善成議員

合併当初の財政内容から考えると実質公債費率は一七・二％となり、町民にとって必要不可欠な予算です。

（賛成一四　反対三　認定）

◇国民健康保険特別会計

反対 原澤良輝議員

国保税の引き上げなどで黒字になった増加分を、町が負担するか、加入者に返すかの判断が求められています。

賛成 山田庄一議員

国保制度は住民にとって必要不可欠な制度であり、単年度の結果で判断することなく、医療が安心して受けられることが必要です。

（賛成一六　反対一　認定）

◇後期高齢者医療特別会計

反対 原澤良輝議員

七十歳になったら無料で医療を受けられる制度を確立して下さい。

（賛成一六　反対一　認定）

◇介護保険特別会計

反対 原澤良輝議員

介護保険料の値上げを含む決算は認められません。

賛成 林　一彦議員

利用者や認定者が増加する中、介護を軽減するための必要不可欠な制度です。

（賛成一六　反対一　認定）

◇水道事業会計

反対 原澤良輝議員

水道会計を企業会計として独立して運用するには無理があります。

賛成 中島信義議員

当年度未処理欠損金が減額され、水の安定供給を図る工事が実施されています。

（賛成一六　反対一　認定）

◇老人保健特別会計
◇簡易水道事業特別会計
◇下水道事業特別会計
◇利根沼田広域観光センター特別会計
◇スキー場事業特別会計
◇自家用有償バス事業特別会計
◇温泉事業特別会計

（全会一致認定）

このように決まりました。

報告事案

- 一般会計継続費精算報告書
- 訴えの提起に関する専決処分報告
- 平成21年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率
- 公社・三セクの経営状況
  - ◇株式会社水の故郷
  - ◇月夜野クラフトビール株式会社
  - ◇株式会社月夜野振興公社
  - ◇株式会社猿ヶ京温泉夢未来

旧衛生センターの視察

22年度補正予算（9月補正）

旧衛生センターを一部解体へ

水上中新校舎に太陽光発電を設置

項目			補正額	主な内容	総額
一般会計			9億5,210万円	環境力推進事業費（環境対応車購入など）／420万円 戸籍住民基本台帳費（戸籍システム購入など）／1,716万円 障害者自立支援給付費等（介護給付など）／1,325万円 環境衛生総務費（旧衛生センター解体工事など）／1,206万円 小規模土地改良費（下多地区・蟹梓地区工事など）／3,000万円 デスティネーションキャンペーン事業費／1,150万円 観光施設総務費（観光施設撤去工事など）／1,777万円 水上中学校建設事業費（太陽光発電設備設置工事など）／2,462万円 土木施設災害復旧費／1,200万円 長期債繰上償還元金／7億2,153万円	131億4,986万円
特別会計	国民健康保険		1億5,400万円	基金積立金／1億5,000万円	30億867万円
	老人保健		20万円	償還金／20万円	147万円
	介護保険		1,343万円	基金積立金／1,309万円　償還金／1,038万円 予備費／▲1,223万円	18億4,843万円
	簡易水道		941万円	猿ヶ京簡水統合工事／827万円	2億5,490万円
	下水道		3,946万円	公共下水道建設事業費／2,360万円 公共下水道維持管理費／916万円 特環下水道維持管理費／670万円	10億6,521万円
	水道事業	資本的 収入	64万円	工事負担金／64万円	9,205万円
		資本的 支出	300万円	工事請負費／300万円	1億8,103万円

—討論—

◇一般会計

反対 原澤良輝議員

町営住宅の訴訟委託料に反対です。

衣・食・住は生活の最低条件です。生活再建のための福祉・徴収部分を併せた相談窓口を設置する必要があります。

賛成 小林　洋議員

月夜野地区の懸案であった旧衛生センター解体工事、生活道路や子育て支援の費用、福祉の充実を図るための工事費など多岐にわたり、町民の生活に密着した予算が組まれています。

（賛成一六　反対一　可決）

◇国民健康保険特別会計
◇老人保健特別会計
◇介護保険特別会計
◇簡易水道事業特別会計
◇下水道事業特別会計
◇水道事業会計

（全会一致可決）

関口橋整備が本格化

水上地区にスクールバス（４ＷＤ）導入

●町教育委員会委員の任命

次の人を任命しました。

牧野堯彦氏（後閑）

（全会一致同意）

●議員派遣の件

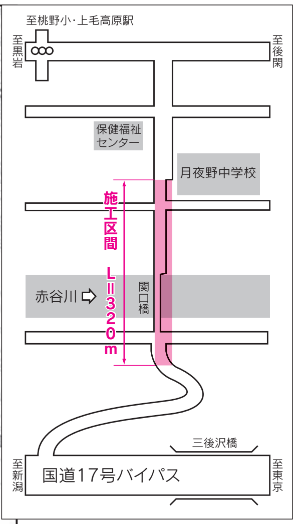
●町水上地区スクールバス購入契約の締結

●町観光体育施設条例の一部改正

●町猿ヶ京温泉交流公園条例の一部改正

●社会資本整備総合交付金事業町道悪戸関口線関口橋橋梁整備工事（下部工）請負契約の締結

（全会一致可決）



関口橋の位置
（左：周辺図　上：略図）

●町過疎地域自立促進計画の策定

―討　論―

反対　**原澤良輝議員**

総合計画のように、町民・職員・議員が参加して作成すべきです。

事業実施時に内容の検討をするのではなく、計画段階で事業の必要性や効果の検討をする必要があります。

賛成　**内海敏久議員**

本計画は、第一次総合計画に基づき、自立の基本方針を定めています。

本計画を策定することで過疎債が有効活用でき、夢のあるまちづくりがより一層促進されるものと期待します。

（賛成十六　反対一　可決）

みなさんからの請願・陳情 審査結果一覧

子持神社修復を採択

社殿は県の重要文化財に指定されている

	No.	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	審議結果
請願	3	22. 7. 9	子持神社社殿（県指定重要文化財）の修復について	上牧2066-3 上牧区長　前田 清一　他２人	総務文教	採　択
	4	22. 8.11	水上温泉街の活性化対策について	湯原636 湯原区長　鈴木 俊夫　他４人	産業観光	継続審査
	5	22. 8.30	旧月夜野第一中学校跡地に水洗トイレを設置に関する請願について	布施1587 澤浦 由樹　賛同者4人 ほかソフトボール保護者会一同	総務文教	継続審査
陳情	2	22. 8. 4	「そば・うどんの里づくり」・「フルーツ・ベジタブル園」の建設について	須川847 ㈶新治農村公園公社 理事長　鈴木 和雄	産業観光	継続審査

林 一彦 議員

赤谷プロジェクト 町として評価と今後の活用は

町長 環境保護通じ町政の課題に助力願いたい

赤谷プロジェクトの活動の様子
上：専門家による森林管理の検討
下：ボランティアのサポーターによる活動

問 「赤谷プロジェクト」は、生物多様性の復元、持続的な地域づくりを進める取り組みです。

現在メンバーは地元会員が約五〇名、東京・千葉・神奈川等から約六〇名、日本自然保護協会や赤谷センター職員等で組織されています。環境教育・地域づくり・渓流環境復元・猛禽類モニタリングなど各分野の専門家と共に、年間七十五日ほどの活動を行っています。このモニタリングは、全国的にも類を見ない総合的で長期的な活動です。

この「赤谷プロジェクト」六年の実績をどう評価していますか。

答 町長 成果として「赤谷の森基本構想」がまとめられています。生物多様性の保全や、地域住民の声をもとにした国有林の森林計画が編成される先進的なものとして、高く評価しています。

問 赤谷の森エリアにいる猛禽類の貴重な生息地である事をどう考えていますか。

答 町長 わが町にはすばらしい自然財産があります。これを将来に向かって遺して行かなければなりません。

問 プロジェクトから提供されているサル群の追跡調査等のデータをどう活用していますか。

答 町長 提供いただいたデータを活用し、効果的なサル群の捕獲や管理に役立てたい。

問 「赤谷プロジェクト」と定期的な協議の場が必要では。

答 町長 環境課を窓口として協議を進め、改めて生物多様性について検討を始めたい。

問 「赤谷プロジェクト」には、大学教授や環境関係のスペシャリストが数多くいます。毎月調査で来庁される際に、彼らとの協議で、山積している本町の問題の解決策が見いだして行けるのでは。

答 町長 有識者組織の一つとして、赤谷プロジェクトの皆さんにお手伝いいただく事もあると思います。

島崎　栄一　議員

アウトソーシング※のコスト節約　直接管理の方が良い

町長　外部化が適切なものは委託すべきと思う

安心・安全な給食が毎日提供されている

問　昨年本町は、給食センター・認定子ども園・スクールバスの業務を、総額一億五千万円で大新東㈱（以下、大新東）に委託発注しました。それらの業務は、委託料を払ってまで派遣会社に委託する必要があるのか、非常に疑問です。

大新東は売上金額の一〇％を超える営業利益を出しており、会社の経費等も考慮すれば三千万円以上のお金が町外に流出しています。

給食センターなどの仕事は長年町が担ってきた業務であり、町外業者に委託しなければならないものではありません。町が直接管理すれば、労務管理の委託費用が節約できます。町の職員には人材も能力も十分あります。

町民は補助金の削減や国保税の値上げなどにも我慢して、職員は五十八歳早期退職に応じて町の財政再建に協力しています。業務に中抜き会社を入れて利益を差し出す事はやめるべきと思いますが、町の考えをお聞かせください。

答　**町長**　外部化して適切なものは、幅広くアウトソーシングしていくべきだと考えています。大新東には、労務管理等一五％の必要経費を見て発注しています。他の派遣会社の実態から見て高いとは思いません。

一社随意契約で良いのかという事は、環境を整えながら、町の人が働ける条件を満たす企業があり得るのか調査、条件を検討して行きます。

問　大新東は、国土交通省地方整備局の委託事業で談合を行い、課徴金二億円を今年三月に支払い、指名停止になっている事を、町長は知っていたのですか。

答　**町長**　ご指摘の指名停止の件については承知していません。

問　他の市町村では、国土交通省からの情報を受けて指名停止にしています。本町はどうするのですか。

答　**町長**　現在履行中の契約は無効にならないと考えています。新たな契約のときに判断すべきと思っています。

※アウトソーシング　業務の一部を一括して、他企業などの外部組織に請け負わせること。

外国人観光客の誘致　町のビジョンは

小林　洋 議員

問　観光客全体の増加という事を考えた場合に、外国人観光客への取り組みが重要だと考えていますが、そこで町の外国人観光客に対するビジョンおよび施策は。

町長　県の開拓エリアに集中的な働きかけを

答　町長　経済発展が進む東南アジアが、一つの大きなターゲットになろうかと思いますが、一番競争の激しい所ですから、明確なビジョンを作らなければならないと思っています。

今度の広東省の訪問は、大沢知事のトップセールスで県が開拓した場所です。そこに町として徹底的に広報・各種活動を集中させる事が有効だと考えています。

聯合（れんごう）国際学院※の友好締結事業と併せて、今後の観光振興に結びつける視点で訪問する予定です。

※聯合国際学院
　授業がすべて英語で行われ、学生全員が英語習得している中国広東省の大学。中国内でも有数の先進的な取り組みを実施している。
　今後は英語を介して、現在も実施中のスキーや弓道等のスポーツ交流を始め、協定調印を機にたくみの里文化交流、リンゴジュース販路開拓などの産業交流を行う予定である。

海外の観光客への対応が重要性を増している（そば打ち体験に参加する韓国からの観光客）

■アウトドアスポーツと町おこし
ニュージーランドの例参考にしては

問　若者の間でアウトドア（アドベンチャー）スポーツを中心に過疎の町から国際観光都市に発展したニュージーランドのクイーンズタウンの成功例に学び研究しようという動きもあります。町も研究する価値があると思いますが。

答　町長　クイーンズタウンの成功例は聞いていますので、早急に研究する必要があります。

■レジャーと安全・環境保護
事業は許認可・資格制にすべき

問　アウトドア事業に対し、安全・品質・環境保護を担保するためにも、最低限の許認可・資格制度のシステム等を構築すべきと考えますが。

答　町長　規制ばかりでも良くないと思いますが、安全・品質・環境保護を確保するためには、条例制定も視野に施策を打つ事が重要です。

アウトドアレジャーは安全あってこそ（ラフティング）

中島 信義 議員

廃止後の学校・保育園施設や跡地の活用法は

町長 意見聞きながら検討していく

統合により役目を終える幸知小学校校舎（左手前）と第二保育園園舎

問 平成二十三年度より水上小学校へ統合される幸知小学校は廃校となります。

すでに廃園となっている第二保育園、いずれも建物は耐震不足のため使えません。そうした不用となる施設・跡地を、今後どのような方向で活用して行くのか、考えをお聞かせください。

答 町長 立地的にも有効に活用できる場所だと思います。

財源の問題もあり、いつ撤去できるか約束はできませんが、各施設の撤去等に優先順位をつけながら、地域や議員の皆さんとご相談しながら検討して行きたい。

■水上地区北部の交通

災害時に備え生活道路の整備を

第３の避難ルートが待ち望まれる

問 平成十年と十四年に、大雨による土石流災害が水上地区で発生、多くの住宅、農地および国・県・町道が甚大な被害を被りました。

一時的な交通規制が数日間続き、中・北部の一三〇〇人が陸の孤島となり不便な生活を余儀なくされました。

安全・安心の町づくりの観点から、鹿野沢より粟沢までの利根川左岸に生活道路を確保すべきと思います。町長の見解を聞かせてください。

答 町長 安心・安全な町づくりは行政の基本です。莫大な被害があった事も承知しています。

鹿野沢～粟沢間の生活道路確保には、膨大な費用と時間がかかります。今後も、国道二九一号の期成同盟会や町行政懇談会を通して、県に働きかけてまいりたい。

鈴木 勲議員

町内の高齢者 所在把握の現状は

町長 直接面談で全員把握している

問 所在不明の高齢者はどのくらいいるのでしょうか。把握の状況についておたずねします。

答 町長 本町では一〇〇歳以上の高齢者七名全てを、直接面談で把握しています。

都市部に比べ、地域の連携・支援が濃密な当町は、高齢者への福祉施策を重要政策として引き続き進めていきます。

高齢者を真に大切にする社会へ
（慶祝訪問／白寿を迎えた柳マツさん・新巻）

問 町内で戸籍がありながら不明者がいるということはないでしょうか。

答 町長 町内で四九名が戸籍簿上で生存となっていますが、住民票上の不明者とは別問題※と考えます。

法務省と協議をしながら、方針に基づき町でも処理していきたいと思っています。

※戸籍と住民票の違い
住民票は、今、住んでいる場所に登録するもので、戸籍は住所地と関係なく戸籍地番があればどこでも登録できるものです。
最近、言われる戸籍簿上の不明者とは、身よりのない人が出先で死亡した場合や戦争で亡くなった人の家族が生きて帰ってくるのではないかと死亡届を出さなかった場合等が考えられています。

■関越自動車道の側道
管理はどこが行っているか

問 関越道が開通して二十五年を経過しました。高速道路の開通で首都圏が近距離になり、観光・物流・地域振興に高速道路の恩恵を受けています。

側道については、道路公団（現：東日本高速道路㈱）、あるいは町で管理するのかお尋ねします。

答 町長 本町の側道については、当時の日本道路公団が建設したもので、町との協定に基づき、開通後は町へ移管されています。

町は町道として、延長二十六kmを、地元の協力を得ながら維持管理していきます。

■肺炎球菌の予防接種
高齢者への周知にどう取り組む

問 肺炎球菌によって起こる主な病気は、肺炎・気管支炎等の呼吸器の感染症で、副鼻腔炎・中耳炎・髄膜炎などがあります。

ワクチンを接種すると八〇%以上感染症が予防できると聞いていますが、町の高齢者の中にはワクチン接種について知らない人がいます。今後の周知・指導はどのようにするのでしょうか。

答 町長 町では接種補助を行い、二十年十月より現在まで対象者の四%（二〇九人）の方が接種されています。

非常にワクチン接種率が低いので、町の広報等で再度呼びかけたいと思います。

髙橋　市郎議員

月夜野の幼稚園・保育園施設整備どう進める

町長　特別委員会の最終報告※に沿って

施設老朽化の説明を受ける

「もうすぐ給食！」

問　月夜野地区の幼稚園・保育園の施設整備と幼保のあり方について、町長の考えをお聞きしたい。

答　**町長**　昨年十二月議会での、教育施設等検討特別委員会（委員長：髙橋市郎議員）による最終報告※の方向でやって行きたい。

問　みなかみ町全体の保育園・幼稚園に通う子どもの約四分の一が集まる月夜野保育園は、未だ耐震整備がなされていませんが、監査委員の決算審査報告にもあったように、早急な対策が必要ではないでしょうか。

答　**町長**　現存施設の早急な安全確保をして行かねばなりません。

また本格的な施設整備については、最終報告に基づき、合併特例債が活用できる平成二十六年まででは整備をしたい。そのためには二十三年で幅広い意見を聞き、二十四年には場所・規模を決定し、二十五・二十六年で設計建設して行きたい。

※教育施設等検討特別委員会において平成二十一年十二月議会で提出された最終報告では、月夜野地区の保育園・幼稚園のあり方について「**こども園や民営化、幼稚園の統合等を検討する必要がある**」としている。

■行財政改革と人材育成

人事面における改革への取り組みは

問　行財政改革行動指針の実施計画にある「行政評価制度」と「人事制度」による行財政改革の中で、人材育成と人事制度の改革についてどのように取り組まれていますか。

答　**町長**　財政規模一〇〇億円、職員数二四〇名を実現するにあたり、職員一人一人の能力・行動の質を高めて行かなければなりません。

現在、人事評価制度の構築・導入段階であり、職員研修を重ね、町民のために取り組める人材の育成につなげていきます。

山田　庄一 議員

里山の荒廃抑止に町の整備施策は

町長 住民の助力必要、国の制度も利用

問 耕作放棄地の広がりと同時に、周辺の里山の荒廃が進んでいます。

環境問題と鳥獣害の温床となる不耕作農地と里山整備は、これからの町づくりの大きなポイントになると思います。この解決には、行政と住民との連携による取り組みが大事だと思います。

国の緊急雇用対策の継続と併せ、町の考えをお聞きします。

答 町長 耕作放棄地は、町による取り組みだけで解決できない問題であり、今後住民との連携によって、取り組み態勢が整えば、議会と相談し、整備と予算化を考えたい。

緊急雇用制度については大変ありがたい制度であり、継続性については、国に要望しながらも、町単独として、新年度予算組みのとき、議会に相談したいと思います。

まちづくり作業の様子　上：こさ切り作業（新巻地区）
下：ヒガンバナの植栽（笠原地区）

■ボランティア支援

技術や知識習得の場を設けては

問 行政と住民による協働のまちづくりの下、ボランティア活動によって町づくりを支えている人の技術や知識の習得のため、活動に必要な講習会の開催など、町の支援が必要だと思いますが、町の考えは。

答 町長 ボランティア団体が講師を呼んで勉強会等を行う場合、支払いや派遣調整は町が直接行い、横断的な活動支援をやっていきたいと思います。

前田 善成 議員

インバウンドを有利に行う交流事業に注力を

町長 重要であり適切に支援したい

問 今、国をあげてビジット・ジャパン・キャンペーン（インバウンドの一環）に力を入れています。

町も交流の深いニュージーランドの取り組みを参考にして、町内ボランティアによるガーデニングを町全域に広げる考えはありませんか。

また、源流の町を前面に出した節水活動や水道技術で、アジア諸国との交流・インバウンドに取り組む考えはありますか。

答 町長 住民が積極的に町づくりに参加し、地域の魅力を高めていくことが、国内外の来訪につながることは重要なことだと考えます。

それらについて町は適切に連携・支援し、情報を発信していくべきと思います。

※インバウンド（inbound）
海外からの旅行者を日本へ誘致すること。また、その旅行者。「外から中へ入ってくる」が原意。

下：弓道を通じた交流
上：中国の聯合国際学院との友好締結 （関連記事Ｐ８）

■国民健康保険

国保税額の今後の考えは

問 国保税の値上げに伴い、年収四〇〇万円前後の中間所得者の負担が重くなります。

一昨年の収入不足と昨年度の基金積立を考慮して、今後の保険料の推移をどうお考えですか。

答 町長 当初の予定どおり医療費と基金積立等を勘案して、三年経った時点で改正議論をしていくべきと考えています。

県単位の国保運営で長期安定的に健康保険制度が維持できるよう、これからも関係機関に働きかけていきます。

問 税の共同化、広域化で国保の問題は大半が解決できますが、それらの事情を多くの住民は知らず、不公平感をつのらせています。

住民の意見を聞く場を設ける考えはありますか。

答 町長 国保税の値上げについて、窓口職員は本当に苦労をして説明しています。説明会については検討したいと思います。

また、そのような意見を聞いたときには、事情をよくご存知の議員の皆さんも国保の状況をよくご説明願いたい。

■小中一貫教育

今後の展望と特区でない優位性は

問 小中一貫教育の方向性と、特区※を設けない理由とその中での優位性についてお聞きします。

答 町長 町では連携教育を推進しており、特区を取るべきかは学習指導要領との関係と思います。

答 教育長 今は連携教育ですが、一定の成果を上げています。

将来的に各種の条件が整えば、本当の内容での一貫教育にしていきたい。

※特区（構造改革特別区域）
国の規制緩和政策（構造改革）の一つ。
教育特区の場合、指定を受けると、従来の小中学校六・三制の義務教育の形にこだわらず、九年間を通した独自のカリキュラム編成や区分の弾力化等が可能になる。

追跡

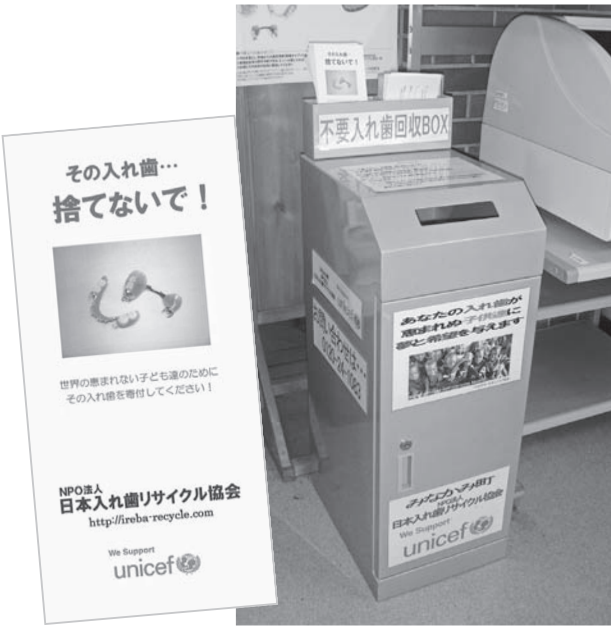
あの質問どうなった？

入れ歯回収ボックス設置しては

（平成二十年三月定例会／原澤良輝議員）

回収ボックスを設置しました。現在も寄付を受付中です。

平成二十年四月より役場本所・支所の住民窓口近くに設置され、不要入れ歯の回収を実施しています。
設置されてから今までに二十五個が回収されました。
入れ歯は貴重な資源、また救援の財源です。
引き続きご協力お願いいたします。



産業観光常任委員会

視察報告

報告：委員長　河合生博

・DC（デスティネーションキャンペーン）の取組み

阿智村・飯田市（長野県）

7/28-29

往時の古民家調にまとめられた「伊奈谷道中」の入口ゲート

現在、群馬県でプレデスティネーションキャンペーン（以下DC）が開催中ですが、今年長野県で本DCを実施するということで、本番までの経過や取り組み、運営を研修してまいりました。

みなかみ町の観光事業を見たときに、観光関連組織に従事する戸数は、約三割強であると思います。観光客の入込み数を比較してみると、宿泊数は平成二年が約二四〇万人、平成二十一年一一〇万人で半分以下です。

みなかみ町は観光なくしてあり得ません。観光事業を官民上げて活性化する事が町の発展につながります。そのためには「組織は人なり」ということをつくづく感じました。

本町にも観光協会、旅館組合、民宿組合等々、さまざまな団体がありますが、その組織の一般加入者が心から組織を必要としているかどうか、有意義な稼働をしているかどうか疑問です。

自然や名所、十八湯の源泉、地元産物、すばらしい素材を活かせば、町の観光回復は実現できると確信します。

時代の流れや風評と言いながら、多くの事業者が現実を直視していなかったのが、観光事業が大きく傾いた理由の一つであろうと思います。

我々議員も他人事でなく政策立案をして、より一層の町の活性化に寄与していきたいと思います。

「伊奈谷道中」中の様子
上：陶芸体験教室
下：機織りの展示

議会の動き

＊平成22年８月～10月
※議会議員および議長が出席した行事

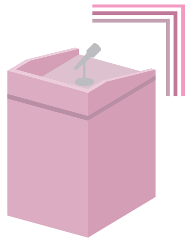
月	日	行事
８月	1（日）	武尊神社例大祭
		町組祇園祭
		北風塾設立記念行事
	5（木）	利根川治水同盟治水大会
	9（月）	議会運営委員会
	10（火）	渋川下新田線期成同盟会総会
	11（水）	学校組合議会
	12（木）	藤原小中運動会
	14（土）	利根川上下流交流・取手市花火大会
	15（日）	群馬県戦没者追悼式
		みなかみ祭り
	17（火）	流域下水道連絡協議会
		藤原獅子舞
	19（木）	議会全員協議会
		議会運営委員会
		小口融資審査会
		厚生常任委員会
	21（土）	関東ブロックホッケー大会
		藤原区民祭り
	22（日）	藤原湖マラソン
	23（月）	利根地方総合開発協会理事会
		郡定例議長会
	25（水）	全国広報研修会（～26）
		後期高齢者医療広域連合定例会
	26（木）	介護保険運営協議会
	27（金）	グラウンド・ゴルフ協会秋季交歓大会
	28（土）	猿ヶ京温泉・赤谷湖湖上花火大会
	30（月）	スキー場連絡協議会
		土地開発公社理事会
９月	1（水）	議会運営委員会
		土木行政懇談会
	2（木）	町防犯協会総会
	4（土）	水上中・新治中学校運動会
		おいで祭り（～5）
	6（月）	商工会女性部主催試食会
	7（火）	町ゲートボール協会秋季大会
	8（水）	第7回みなかみ町議会9月定例会（開会日）
		議会全員協議会
	9（木）	第7回みなかみ町議会9月定例会（一般質問）
	10（金）	議会全員協議会
		議会だより編集特別委員会
	11（土）	町内小学校・幼稚園運動会（古馬牧・桃野・水上・月夜野北小/幼稚園）
	13（月）	総務文教常任委員会
		産業観光常任委員会
	14（火）	厚生常任委員会
		福祉パレード来庁
	17（金）	第7回みなかみ町議会9月定例会（閉会日）
	18（土）	町内小中学校運動会（新治小・月夜野中）
		地域安全運動利根沼田地区大会
	21（火）	水上中学校校歌選定員会
	22（水）	小口融資審査会
	23（木）	茂左衛門地蔵尊奉納弓道大会
	25（土）	町内幼稚園・保育園運動会（月夜野幼稚園・下牧合同・月夜野保育園 にいはるこども園・わかくりこども園）
	26（日）	町民体育祭
	28（火）	中国聯合国際学院友好締結式
10月	1（金）	利根地方総合開発協会陳情
	2（土）	行啓
	3（日）	ターゲットバードゴルフ選手権大会
		村主神社秋季大祭
		全国育樹祭
		谷川岳慰霊祭
	4（月）	韓国メディア・エージェント招聘事業歓迎会
		厚生常任委員会研修視察（～5、長野県）
	5（火）	秋季地域安全パレード
	6（水）	県総合計画策定懇談会
	7（木）	みなかみ町GB協会町長杯争奪戦
		みなかみ町平和式典
		議会だより編集特別委員会
	8（金）	利根郡町村議会議員親善ゴルフ大会
	13（水）	定例議長会
		広域圏議員協議会
	17（日）	消防団秋季点検
		福祉ふれあいフェスティバル
	18（月）	議会だより編集特別委員会
	19（火）	小口資金融資審査委員会
	21（木）	利根郡議員・事務局研修会（～22、片品村）
		議会だより編集特別委員会
	23（土）	防火ポスターコンクール表彰式
	24（日）	豊楽まつり
	25（月）	県民体育大会郡選手団結団式
	26（火）	第8回みなかみ町議会10月臨時会
	27（水）	北海道中富良野町議会視察来町
	28（木）	みなかみ町情報交換会
		群馬県町村議会議員研修会
	30（土）	ぐんまボランティアフェスティバル開会式
	31（日）	農業まつり（月夜野地区）

議会だより編集委員会

◆委員長　鈴木　　勲
◆副委員長　阿部　賢一
◆委　　員　小林　　洋　内海　敏久
　　　　　　中島　信義　林　　一彦

議会を傍聴してみませんか？

—お問い合わせは—　**議会事務局**まで
☎25－5023（直通）



町民ひろば

七年目を迎える赤谷プロジェクト

赤谷プロジェクト 代表 **岡村興太郎**（永 井）

赤谷プロジェクトの活動が七年目を迎えています。私自身、水を育む森の大切さを伝えたいと願って続けてきたこの活動は、林野庁関東森林管理局、日本自然保護協会、赤谷プロジェクト地域協議会を中心として、一流の専門家や、関東一円から集まるボランティアの方々など、多くの人たちのこの地域への熱い思いに支えられてきました。

近年、ヤマビルやニホンザルの分布拡大に悩まされていますが、「赤谷の森」には、豊かな森林と生き物たちが残されている事が、これまでの活動で明らかになりました。

エリア内ではイヌワシの生息が確認されている

赤谷プロジェクトの活動は、地元の小中学生・高校生への教育活動や、獣害が問題となっているニホンザルの調査、安全でおいしい水を目指した環境整備活動（ムタコの日※）、旧三国街道を自然と歴史を楽しみながら歩ける道とするための計画づくりなど、地域の暮らしや産業に直接関係する活動も多くあります。これらは、様々な分野の専門家も含めて進められる質の高い活動になっています。この活動と成果を、地元が活用しない手はありません。

昨年度末に取りまとめた「赤谷の森・基本構想」では、「地域一帯となった地域生態系管理」が課題であると書かれています。地元住民が「地域の宝」に気づき、それをより良くする事が、この地域の未来につながると思っています。みなかみ町と赤谷プロジェクトとの連携がさらに進む事を誰よりも期待しています。

「ムタコの日」の様子

遠足を通じて環境を学ぶ（新治小学校）

※ムタコの日
森林の保水力等の環境教育を実践する日で、活動場所の地名（猿ヶ京地域ムタコ沢）をとって「ムタコの日」と呼ばれている。

あとがき

八月猛暑の東京で、広報研修会に参加しました。他の町村の議会だよりを参考に、議会広報の重要性や編集する上での基本・技術など学んできました。

お役所言葉や専門用語をいかに分かりやすく、注釈等を添えてお伝えするかがポイントとの事。

編集委員一同、今後も町民の皆様に分かりやすく親しまれる「だより」を目指して取り組んでまいります。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

小林 洋

みなかみ議会だより
発行／みなかみ町議会
〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318
☎0278-62-2111 発行人／議長 久保秀雄
編集／議会だより編集特別委員会
印刷／(有)東洋プロセス ☎0278-62-1414 FAX0278-62-3300